

学校教育目標	「やさしい子・かしこい子・たくましい子 はばたく子の育成」				
	○自ら学び続け、課題解決に向かって粘り強くやり遂げ、自分の考えを深める子を育てます(知) ○豊かな感性をもち、互いのよさや違いを認め、他者を思いやり、共に高め合う子を育てます(徳) ○自らの生活を見つめ、心と体を鍛え、自分や人の生命と体を大切にすることを育てます(体) ○地域の人やものと積極的にかかわり、自らができることを考え実践し共に生きる子を育てます(公) ○様々な人とのコミュニケーションを通じて、社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます(開)				
学校概要	創立 101 周年	学校長 水島 貴志	副校長 宮崎 博隆	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 556 人	主な関係校: 本牧中 大鳥中 本牧小 間門小 本牧南小			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	大鳥中・本牧中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力	大鳥中 本牧中 本牧小 本牧南小 間門小 大鳥小	●本牧のまちと関わり合いながら学び、まちを大切にする子ども他2点 「本牧のまちと関わり合いながら、自ら学ぶ子どもたちを育てよう」～子ども・地域・教職員の連携を通じて～をスローガンとして、○中学校の職業体験実習を受け入れ、運動会ボランティアとして協力をお願いしたりして、中学生と積極的に交流を行う。○小中交流授業研究会を設定し、児童の学習や生活の実態について共通理解を図る。○6年生の入学予定中学校見学交流会を実施し、授業の体験や部活動紹介を通して、安心して中学校へ進学できるようにする。

中期取組目標	○「学ぶ楽しさ」「創り出す喜び」を感じる授業を展開するために、学習の基礎・基本を身に付け、それらをもとに活用探究していく力を育てるとともに、人の話を素直に聞き、課題解決に向けて 粘り強く取り組む姿勢を育てます。 ○ボランティア大鳥、本読みの会、学援隊、幼稚園・保育園児、中学生等との交流、保護者ボランティアの活動などを充実させ、仲間や地域の人たちと協働して取り組む活動を通し、人と共に生きる大切さを理解し、地域に愛着がもてる子、地域への参画意識を育てます。 ○「学力向上」「児童指導」「特別活動の充実」「地域連携」を重点に、様々な現代的課題に対応できる力を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
学力向上 担当 重点研推進委員会	○国語科の授業改善を研究の核にすえ、言語環境の充実に努め、言葉を通して人とかかわる力、自らを表現する力を養う。○言語能力(話す・聞く力、書く力、読む力)を、具体的な子どもの姿でとらえていく。○確かな言語能力を習得する単元構成の在り方を探究する。
特別活動の充実 担当 児童活動推進委員会	○同年齢・異年齢による多様な集団活動を通して人間関係をよりよく形成し、主体的に様々な問題を解決することで自分への自信をもてるようにする。○交歓給食や集会、異学年への働きかけ等、年間を見通したたてわり活動を設定することで人間関係を豊かにし、自尊感情の向上を図る。
確かな学力 担当 評価検討委員会	○豊かなかかわり合いの中で、考えを深め、広げ、生き生きと伝え合う子の育成を目指す。○児童一人ひとりが基礎基本を確実に習得することを目指し教材研究を重視し指導力の向上を図る。○教科の特性をとらえ主体的・対話的で深い学びの充実を図り、各教科の学習に活かしていく。
豊かな心 担当 SDGs検討委員会	○言葉で表現する力を育て、豊かなかかわり合いの中で、自尊感情(自己肯定感・自己有用感)を高める。○「挨拶・返事・靴揃え」を合言葉に、気持ちの良い学校生活をおくれるように意識する。○エコキャップ集めやユニセフ募金などの児童の主体的な活動を大切にしていく。
健やかな体 担当 保健安全検討委員会	○学校保健委員会を中心に心と体のバランスの大切さを学び、年間を見通した各学級の具体的な取組・活動を設定していく。○外遊びや長縄跳び大会などを通して体力向上につなげる。○毎週木曜日のロング昼休みを活用し、思い切り体を動かす場を確保する。
児童指導 担当 児童支援推進委員会	○全職員間での情報を共有し関係諸機関との連携を密接にとりあう。○常に危機意識をもち状況をとらえ、様々な問題・課題に対してチームで対応する。○ネットや薬物に対する段階的・計画的な学習の機会をもつ。○特別支援教育の視点を重視し保護者と連携して児童の健全育成を目指す。
地域連携 担当 SDGs検討委員会・教務部	○学校運営協議会で学校の取組について協議・評価をしてもらい、よりよい学校運営に活かしていく。○「ボランティア大鳥」「学援隊」「スクールゾーン協議会」「町内会」等、子どもたちを見守りサポートしてくれる方々と共に連携し子どもたちが活動に積極的に関わろうと促していく。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	○児童一人ひとりが受け入れられていると実感できる受容的な環境をつくる。○「いじめ根絶横浜メソッド」を活用し、職員会議で定期的に研修を行い、子どもたちの変化・問題を見落とさないように、また見つけた問題に対してより有効な対応が図れるよう、個々のスキルアップを図る。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部・メンターチーム	○重点研授業研や初任者研修、教育実習の機会に、研究授業、示範授業に取り組み、授業力の向上に努める。○児童理解、授業・教材研究、学級経営について相談できるよう、学年研・ブロック研の充実を図る。○メンターチームによる自主研を支援し若手教員の育成を図る。○日課表を常に見直し、時間の有効活用を図る。